

昭和52年度 和歌山県文化功労賞

ます やま えい ご
益 山 英 吾

住 所：和歌山県田辺市

出 身 地：和歌山県

生 年：明治41年

◎業績及び経歴

東京美術学校在学中に帝展に入選するほか、光風会展、東光会展に受賞するなど若くして頭角を現す。

昭和13年光風会員となり、昭和31年「魚の静物」で日展特選を受賞する。現在、日展会友・出品委嘱、光風会評議員・審査員のほか和歌山県美術家協会理事、県展審査員、田辺美術協会会長などを務める。

ルオーを尊敬する氏の画風は、力強い写実に徹し、多彩な色彩のなかに重厚さをたたえているのが特徴で、最近では、人間の孤独感を表現するため道化シリーズに取り組んでいる。

中央における活躍のほか、昭和23年田辺市に帰り、田辺高校に勤務するかたわら洋画研究所を開設し、後進の指導、育成にあたりとともに田辺美術協会の設立や田辺市展の開催など、紀南地方の文化振興に大きな貢献をした。

また、田辺市中央公民館長を務めたほか「年末助け合い洋画小品展」を22年間継続して開催するなど、社会教育や社会福祉に対する貢献も大きい。